

ぐるり39

～自治調査会だより～

2016
2

NO.029

[発行日]
2016.2.1



【写真提供】日の出町 【撮影場所】日の出山荘

- ▶ オール東京62市区町村共同事業みどり東京・温暖化防止プロジェクト
 - ・みどり東京フォトコンテストの結果が発表されました! 2
 - ・参加体験型環境イベント『エコプロダクツ2015』に展覧しました ... 3
 - ・市町村助成事業紹介 4
 - 国立市 花と緑のまちづくり
 - 福生市 ふっさ環境フェスティバル
 - 神津島村 神津島村緑化推進事業
- ▶ 多摩交流センターだより
 - ・第23回TAMAとことん討論会 参加者募集 5
 - ・多摩発・遠隔生涯学習講座2・3月開催予定の講座案内 6
 - ・東京雑学大学3月講義案内 6
- ・会議室利用登録団体の方へ 登録期限更新手続き等のお願い 7
- ・広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介 7
 - 第4回「TOKYOシャンソンフェスティバル」
- ▶ 編集後記 7
- ▶ とっておきスポット～“ココ”ご存じですか?～日の出町 8

Contents

2月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止について様々な事業を展開しています。今回は、みどり東京フォトコンテストの結果発表、エコプロダクツ2015報告、そして市町村助成事業を紹介します。

みどり東京フォトコンテストの結果が発表されました!



本紙6月号(No.21)でもお知らせしたように、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」では、平成26年度からフォトコンテストを実施しています。このコンテストは、写真という身近な媒体を通して、東京のみどり・自然の美しさを都民の皆さんに再評価していただくとともに、緑の保全に関する意識の向上を図ることを目的としています。

今年度は平成27年9月30日に募集を締め切り、12月に結果が発表されました。

応募点数は、新たにWebサイトからの応募も可能となったことから、昨年度の2,230点を大きく上回る、3,156点となりました。ご応募いただきました方々には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

入賞作品(計53点)につきましては、「みどり東京フォトコンテスト」ホームページ(<http://all62.jp/midori-photocon/>)でご覧いただけます。この入賞作品については、平成27年12月10日(木)～12日(土)に開催された、環境展示会「エコプロダクツ2015」の本事業の出展ブースにて紹介するとともに、「2016カレンダー」を作製し、来場者に配布いたしました。なお、都内各市区町村でも配布しておりますので、そちらで受け取ることも可能です。

また、一部受賞者の作品については、昨年度同様、「社会福祉支援」を目的として、都内福祉施設へ寄贈されますので、お近くで見かけることがあるかもしれません。

都民の皆様には、年間を通じ四季折々の美しい都内の風景を再認識していただきたく、これを機会に撮影された場所へぜひとも足を運んでいただければ幸いです。

(※このカレンダーは、上記ホームページからダウンロードもできますので是非ご活用ください。)



▲エコプロダクツ2015にて紹介しました



シーナ

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化プロジェクトのイメージキャラクターです。



▲入賞作品を使って作製したカレンダー▶



かれん



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト



参加体験型“環境イベント” エコプロダクツ 2015 に出展しました

平成27年12月10日(木)～12日(土)の3日間、「わたしが選ぶクールな未来」をキャッチフレーズに、東京ビッグサイトで『エコプロダクツ2015』が開催されました。

今回で17回目を数えるエコプロダクツは、日本最大級の参加体験型環境イベントとして、企業の最新環境技術やCSR事業(社会貢献活動)の紹介、環境学習などを目的に開催され、多くの来場者で賑わいました。今回は昨年末に国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)が開催され、世界的に環境への関心が高まったこともあり、約17万人が来場しました。

当調査会等が企画運営する、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」も出展し、各市区町村の環境施策等を紹介しました。

エコプロ2015に
来てくれて
ありがとう!!



▲当調査会理事長の並木羽村市長をはじめ多くの市区町村長が来場しました



▲多くの来場者で賑わう市区町村ブース



▲ステージで取組を紹介

今回は「東京ecoの市2015～みんなでささえる地球のあした」をテーマとして、ブース全体を市場(マルシェ)風に仕立て、38の参加自治体及び島しょ部の個性あふれる環境活動を、パネル展示・ワークショップ・ステージショー・スタンプラリーなどで紹介しました。

前回と同様に、各参加自治体のエコクイズに答えて、オリジナルスタンプを集めるスタンプラリーも実施しました。スタンプラリーのゴールでは、参加自治体から提供された環境グッズや、多摩産の木材を活用して作成したノベルティが配られました。また、多くの市区町村長が来場し、各自治体の取組を熱心に視察されていました。

本プロジェクトでは今後も、大人から子どもまで楽しめる取組や、地球温暖化防止に対する普及啓発に取り組んでいきます。



▲環境学習のために来場した小中学生



▲ワークショップの様子



▲みどり東京フォトコンテストを題材にした“フォトクイズ”



オール東京62市区町村共同事業 みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。今月も、多摩・島しょ地域自治体の助成金活用事業を紹介します。

かれん

シーナ



① 国立市

花と緑のまちづくり

Tama

国立市

国立市では、市民に緑の大切さを伝えるとともに、花でまちを彩り、景観をより良くすることを通じて人と人をつなぎ、コミュニティを創生していくことを目的として、夏と冬の年2回、学生、市民や関係団体・事業者により都市公園や大学通り緑地帯等(約20箇所)に季節の花(パンジーやベゴニアなど)を植えています。

平成27年度以降も継続して事業を実施することで、まちを彩る花を植える活動をきっかけに市の自然環境保護の普及・啓発を図るとともに、子どもから高齢者まで幅広い年代層の方に活動に参加していただくことを通じて、多くの市民が緑の保全・育成に関心を持ち、意識を高めていただけるように取組を進めています。

【問合せ先】国立市環境政策課 TEL:042-576-2111



② 福生市

ふっさ環境フェスティバル

Tama

福生市

福生市では、環境月間である6月に「ふっさ環境フェスティバル」を実施しており、環境に関する楽しいイベントや役立つブースに多数参加いただいています。今年度は天候にも恵まれ、5,100人という大勢の方にお越しいただき、大盛況で幕を閉じました。

目玉の一つであるステージイベントでは、環境学習の一環で子どもたちが喜ぶイベントとして、大学生による科学実験ショーやエコレンジャーショーを実施しました。また、電気を使わない遊びの紹介として、プロのけん玉師である伊藤佑介氏によるけん玉パフォーマンスショーも行い、大賑わいとなりました。

【問合せ先】福生市環境課 TEL:042-551-1718



③ 神津島村

神津島村緑化推進事業

Islands

神津島

神津島村では緑化推進事業として、島に自生する植物、四季折々の花を身近な場所に植える取組を行っています。

花や植物を植えることにより、島の自然と一体感を出すことで、これから見えてくるであろう島の雄大な景色への期待を膨らませたり、風光明媚な景勝地にちょっとした色を足すことができます。その景色と融合し、景勝地が何倍にも引き立てられます。そして、訪れる来島者や地元住民から「島の自然の癒し」の空間として喜ばれています。

【問合せ先】神津島村産業観光課 TEL:04992-8-0011





多摩交流センターだより

第
23
回

T A M A
とことん

討 論 会



参加者募集

陶磁器製のお茶碗やお皿は私たちの生活になくてはならないものです。食べ物を載せる容器というだけではなく、器そのものに魅力を感じる方も多いことでしょう。では、割れたり、使わなくなった食器はどうしていますか。

今回のTAMAとことん討論会は、食卓にかかせない食器に焦点を当て、ディスカッション・ワークショップ・展示の3部構成で開催します。ぜひご参加ください。

- テーマ 陶磁器製食器と3R ～食卓から考える「もったいない」～
- 日時 平成28年3月6日(日) 10:00～17:00
- 会場 エコにこセンター 多摩市唐木田2-1-1 小田急多摩線唐木田駅徒歩約5分 ※参加者用駐車場はありません。
- 参加費 1 ディスカッション 無料 ※ただし、希望者のみ資料代500円 報告書500円
2 ワークショップ 材料費各200円
3 展示 無料
- 主催 第23回TAMAとことん討論会実行委員会
(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦、公益財団法人東京市町村自治調査会)
- 共催 多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター
- 後援 東京都 東京都市長会 東京都町村会 多摩市 公益社団法人東京都リサイクル事業協会 一般社団法人廃棄物資源循環学会
- 内容 以下のとおり(詳細は<http://www.renpou.org> 申し込みもできます)

1 ディスカッション 12:30～17:00 (敬称略)

開会のあいさつ

- 講演 陶磁器製食器のリサイクルとアップサイクル 長谷川 善一(元岐阜県セラミックス研究所主任専門研究員)
 報告 行政回収のとりくみ(不用食器の拠点回収) 山田 周(国分寺市環境部ごみ減量推進課ごみ減量推進担当係長)
 報告 市民団体のとりくみ 柏原 君枝(小金井市消費者団体連絡協議会)
 課題提起 陶磁器製食器の3Rと市民活動の輪 江尻 京子(東京・多摩リサイクル市民連邦事務局長)

全体討論・意見交換

コーディネーター 山本 耕平(ダイナックス都市環境研究所所長)

閉会のあいさつ

○参加方法

当日申し込みもできますが、2月28日までに事前申込をし、当日ディスカッションに参加した方(先着100名)には、回収した食器を原料の一部に使用したRe食器を差し上げます。詳細は返送する参加票をご覧ください。

※事前申込の方法 住所、氏名、電話番号、メールアドレス、所属を事務局まで送ってください。(郵送またはFAX、E-mail)

2 ワークショップ 10:30～16:00 要事前申込 申込締切 2月15日到着分まで

A ブローチづくり 材料費200円 ・回収した食器を原料の一部に使用したリサイクル陶土で作ったパーツに絵を描きます。

- ・対象 中学生以上
- ・各回6名 4回実施 1度に申し込めるのは1名分のみです。

B モザイクアート 材料費200円 ・食器の破片を使ってコースターまたは壁飾りを作ります。
 ・どなたでも参加できますが、小学3年生以下は保護者同伴のこと。
 ・各回20名 4回実施
 ・家族の場合は1度に3名まで申し込みます。

○参加方法

ABの別、参加希望時間※、住所、氏名(Bの場合は参加者全員の氏名と年齢、小学3年生以下の場合は保護者の氏名も)、電話番号、メールアドレスを事務局まで送ってください。(郵送またはFAX、E-mail) 応募者多数の場合は抽選のうえ、結果を全員に通知します。なお、定員に満たない場合は当日参加ができません。 ※希望時間 [10:30 12:30 13:45 15:00 何時でもよい]



A

B

3 展示 10:00～17:00

陶磁器製食器の3R 食器の原料等
 申込不要 自由にご覧いただけます

- 問合せ先 〒206-0011 多摩市関戸1-11-7 グリービル602 TEL 090-3818-7006 FAX 042-400-0096
 特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦事務局内 E-mail tama.recycle@gmail.com
 第23回TAMAとことん討論会実行委員会事務局

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

平成28年2・3月開催予定の講座案内

144回

日時 平成28年2月11日(木・祝) 14:30から約1時間
題名 声楽の魅力
講師 田中 和男 氏(歌手・元防衛大学校教授)
内容 人間の声は、あらゆる楽器の中で最も美しい。そして人間の感情を表現する手段として、最高の機能を有する音源である。ただ、この性能を活かすためには、訓練が必要である。主に中世ヨーロッパのキリスト教の教会で、キリストをあがめることを目的として歌われた合唱をスタートとした声楽

は、現代の日本人の心にも訴える力を保有している。



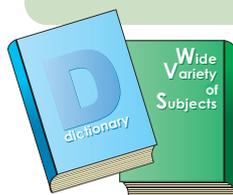
145回

日時 平成28年3月10日(木) 14:30から約1時間
題名 生涯学習者から見た日本の知的交流
講師 高橋 豊 氏(NPO法人小石川後楽園庭園保存協会理事・博士(学術))

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成28年3月講義案内

(会員は受講料無料・会員外は3月10日を除き、1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1028回	3月3日(木) 14:00から	“青鞥”と平塚らいてう	岩淵 宏子 氏 (城西国際大学客員教授・ 日本女子大学名誉教授)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)
第1029回 ※	3月10日(木) 14:30から	生涯学習者から見た日本の 知的交流	高橋 豊 氏 (NPO法人小石川後楽園庭園保存協会理事・ 博士(学術))	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1030回	3月17日(木) 14:00から	日本の社会と社会保険	河 幹夫 氏 (神奈川県立保健福祉大学教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1031回	3月24日(木) 14:00から	味わい教育 ～感じるとおいしくなる魔法	品川 明 氏 (学習院女子大学教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。

※第1029回は、第145回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

訂正:本紙1月号(No.28)の3ページでご案内した「東京雑学大学」の教場が間違っていましたので、訂正いたします。

(正)2月18日(木)(第1026回) 田無公民館(西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

2月25日(木)(第1027回) 西東京市民会館(西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

会議室利用登録団体の方へ 登録期限更新手続き等のごお願い

多摩交流センターの会議室利用登録団体の登録期限は、登録または更新してから3年度目の3月31日です。登録の更新を希望する場合、所定の書類を提出していただいております。該当する団体へ通知しますので、期限内に必ず手続きをお済ませください。

また、貸出用ロッカー・棚についても利用期間が満了となります。こちらについても、申込書を各団体に送付しますので、利用を希望する団体は必ず手続きをお願いします。なお、利用希望の団体がロッカー・棚の数を超えた場合は抽選で利用団体を決定します。

広域的市民ネットワーク活動助成事業紹介

第4回「TOKYOシャンソンフェスティバル」

日時 平成28年3月5日(土)開演:12:00
平成28年3月6日(日)開演:昼の部12:00 夜の部17:30
(開場は各回30分前)

会場 府中グリーンプラザ・けやきホール(京王線府中駅北口 徒歩1分)
内容 5日はシャンソンファンの自由参加による発表。6日は戸川昌子氏ほかプロシャンソン歌手を招いた「シャンソンギャラリー」と、初回から好評の「シャンソンドラマ」の2部構成。シャンソンを思いっきり堪能できるフェスティバルです!!

入場料 2,000円(5日6日共通チケット)
主催 TOKYOシャンソンフェスティバル実行委員会(TCF)
問合せ TEL 090-9643-6030(後藤)

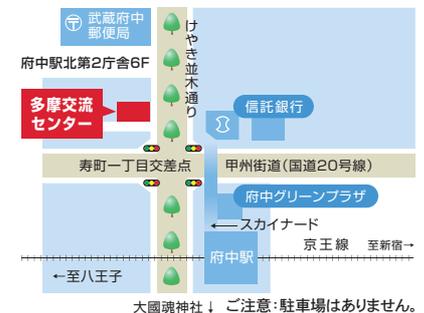


「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127
ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 気候変動問題は、海面上昇に伴う国土の消滅や熱帯地域の拡大のみならず、巨大台風の発生や集中豪雨の多発など、日本にとっても他人事ではなく、人類全体の生存の危機に関わる一大事です。しかし、快適な現代文明を全て捨て、エネルギー消費の少なかつた昔に生活を戻すことはできません。
- 地球温暖化の行方を左右する国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)が昨年末に開催され、条約に加盟する全196か国・地域が参加する新たな枠組み「パリ協定」が採択されたことは、記憶に新しいことと思います。
- 本協定の最終的な目標は、産業革命前からの気温上昇を1.5度未満に抑えるために加盟各国が努力し、今世紀後半には温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目指すとしています。そのために、すべての国に削減目標の作成・報告を義務づけし、5年ごとに進捗確認、削減目標を見直していくというものです。我が国の削減目標(2030年度までに2013年度比26%削減)も、5年ごとに検証、見直しをしていくこととなります。
- この目標の達成には、省エネルギーのさらなる徹底や再生可能エネルギーの最大限の導入を含む抜本的な対策が必要です。そして、何よりも大切なことは、生活する私たち一人ひとりの省エネ意識の向上と、低炭素型の製品・サービスを選択する行動の拡大です。
- 本編記事(3ページ)で紹介しているとおり、昨年12月に国内最大の“参加体験型”環境イベント「エコプロダクツ2015」が開催されました。このイベントでは「オール東京62共同事業」ブースに多くの市区町村が出席し、各自自治体のさまざまな環境施策を展示したり、ワークショップやステージショーで取組が紹介されました。
- 環境施策の一例を紹介すると、ある自治体の庁舎屋上に設置した太陽光発電による電力を電気バス、庁舎電気自動車などに供給している取組や、河川の落差を利用したマイクロ水力発電の事例が紹介されました。また、ある自治体では、地域の財産である地下水の活用を通じて、水(恵み)が与えてくれる自然や環境保全の大切さの紹介がありました。
- 各市区町村ではエネルギーの地産地消、自然環境保全の取組などにより、温室効果ガス削減に向けての施策を展開しています。このような取組の継続・積み重ねと、市民の自覚と行動が、地球温暖化を緩和する「クール(涼しい)」な未来を実現する唯一の道ではないかと思えます。
- 今後も、当調査会等が企画運営するオール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」により、各市区町村の環境施策に役立つよう事業を推進していきたいと思えます。

(M.M)



とっておきスポット

第17回 日の出町

“ココ”
ご存じ
ですか?

日の出町といえば、表紙の日の出山荘を連想するかもしれないけど、
今回はわたげのボクが「(仮称)野鳥の森・こども自然公園」を紹介するよ。



(仮称)野鳥の森・こども自然公園は、草花丘陵にある里山を活用した面積約97haの公園なんだ。

コナラやアカシデ、ヤマザクラなどの落葉広葉樹が広がる里山は、春には桜、初夏には新緑、秋には紅葉や落葉の風景が楽しめるよ。

最近ではテレビドラマやミュージックビデオなどのロケ撮影が度々行われているんだって。

この公園がある平井・川北地区は、その名のとおり平井川の北岸に位置していて、今でも里山の風情を残す地区なんだ。

この公園のある平井・川北地区の対岸が、かつては平井宿として栄えた地区だったこともあって、平井川の両岸にはたくさんの歴史的建造物や文化財が残されてるんだよ。

なかでも、秋の訪れを告げる「平井のお祭り」で披露される「下平井の鳳凰の舞」は、他に類例を見ない舞として国の重要無形民俗文化財に指定されてるんだって。

平井宿通りを中心ににぎわう「平井のお祭り」は、日の出町の文化財に指定される2基の山車を含め、5基の山車による競合いがみどころなんだ。みなさんもぜひ、ふわっと行ってみたい！

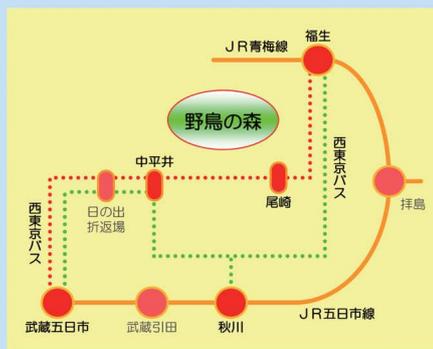


【現地案内】

(仮称)野鳥の森・こども自然公園

《公共交通機関の場合》

- JR青梅線福生駅より
バスで「尾崎」下車 徒歩10分
- JR五日市線 武蔵五日市駅
よりバスで「中平井」下車 徒歩18分
- JR五日市線 武蔵引田駅より
徒歩35分



【情報・写真提供】日の出町産業観光課 TEL 042-597-0511(内線241~243)

《車の場合》○圏央道日の出インターチェンジより3分



【発行日】平成28年2月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上隆

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>



再生紙を使用しています。